

労福協 NEWS

2014.4 No.68

生活困窮者自立 促進支援フォーラム 開催される

～ 生活困窮者自立支援法のめざすこと ～



【生活困窮者自立支援法】

施行期日 平成27年4月1日

1、必須事業

- ・自立相談支援、住居確保給付金（国庫負担3/4）

2、任意事業

- ・就労準備支援、一時生活支援（国庫補助2/3）
- ・家計相談支援、学習等支援（国庫補助1/2）

3、就労訓練事業（「中間的就労」の認定）

- ・知事が一定の基準に該当する事業であることを認定

生活困窮者は、現在ある制度に届かない方、制度の隙間にいる方で、複合的で多様な問題を抱えている。その問題を解きほぐし総合調整する事業である。法制定実施に向けた諸準備への意気込みが述べられ、今後は住民が住んでいる地域をどうするのか。「各地域づくりと各地域力」が試されると話された。

2月28日、徳島県と公益社団法人徳島県労働者福祉協議会の共催で、徳島県・市町村37名、企業・法人16名、労福協関係者32名、計85名の参加で標題のフォーラムが阿波観光ホテル5階で開催された。厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長 熊木正人氏から、平成27年度からはじまる新たな生活困窮者自立支援制度について説明を受けた。

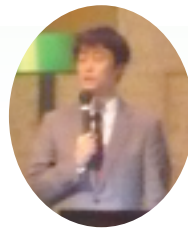
■自立と尊厳

- 一人一人の尊厳と主体性を重んじたもの
- 一人一人の意欲や思いに寄り添ったもの

■つながりの再構築

孤立化し、自分に価値を見出せない限り主体的に参加へ向かうのは難しい。

一人一人が社会とつながり周囲から承認されているという実感を得るため、地域資源ネットワークを活かし、地域社会の一員として尊ばれ、多様なつながりを再生・創造できることをめざす。



主催／徳島県、公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会

公益社団法人

徳島県労働者福祉協議会

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくぴあ徳島

TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113

E-mail tokushima@rofuku.net URL <http://tokushima-rofuku.net/>

労 福 協

県民と働く者のとくしまフェスタ 2013

第21回労働者福祉メーデー

2013年12月3日、第21回労働者福祉メーデーが徳島グランヴィリオホテルにおいて開催され、中央大学法学部教授で内閣府社会保障制度改革国民会議委員の宮本 太郎氏による基調講演が行われました。



「生活困窮者支援と新しい地域福祉」と題した講演では、非正規雇用が増加し現役世代にも支援が必要になってきたにもかかわらず、社会保障は高齢世代や障がい者、保育に欠ける子ども等、困窮層にその対象を限定したままで経過したことが生活保護受給者の拡大を招いたことを、「ツナ」と「アミ」に例えて、「ツナが劣化し細くなり（非正規雇用）」そこをサポートするはずのアミ（セイフティネット）が欠落し、どんどん落ちている状況であり、「ツナ」にコーティングをして太くするには、「給付付き税額控除」のような税と社会保障の一体改革が必要であることを強調されました。

続いて、就労準備支援事業・家計相談支援事業・学習支援事業・住居確保給付金の4つの柱を自立相談支援事業で束ねるという生活困窮者自立支援制度の体系について解説があり、無料

職業紹介事業を運営し商工会議所と連携して中間的就労の場を提供している豊中市や、生活に困窮している若者を高齢者向け生活支援サービス付住宅提供のために雇用している大阪市のNPO法人の取り組みなど具体的な事例が紹介されました。

結びに、「地域における働く者の支え合いの仕組みを担ってきた労働者福祉事業は、現役世代が経済的にも、つながりの上でも、数の上でも弱まってきているという時代と課題に直面している。こうした変化を受けて、生活困窮者自立支援法、地域包括ケアシステムなど地域福祉の新しい制度が導入されつつある。このような新しい条件と制度の中で労働者福祉のこれからの取り組みが問われている。」と参加者にメッセージを投げかけお話を締めくくられました。



「中間的就労の場」創出・企業説明会

2月19日、わーくびあ徳島で企業・団体関係者19名、労福協関係者を含め30名の参加で標題の説明会が開催されました。

来賓として徳島県保健福祉部福祉こども局地域福祉課大塚二郎課長よりご挨拶をいただいた後、当協議会藤森申二専務理事と福祉こども局地域福祉課天羽勤課長補佐より就労準備支援事業の説明を行いました。その後、「どんな方が利用するのか」、「企業へのメリットはあるのか」等、質問を受け意見交換の後、閉会しました。



連 合

すべての働く者の処遇を改善し、底上げ・底支え・格差是正を実現しよう**ー今こそ賃上げ、デフレから脱却ー**

2014春季生活闘争徳島県共闘会議は2月20日(木)労働福祉会館別館5Fホールにおいて「第2回総会」を開催した。県共闘会議に結集する各構成組織から100人の代表者が参加した。総会に先立ち共闘会議の新居副議長の開会挨拶に続き、田北共闘会議事務局次長を議長に選出し、議事を進めた。

共闘会議を代表して河村議長が「『2014春季生活闘争』は連合と経団連の会談で2月5日より本格的にスタートした。交渉の先頭を切った、自動車各社や鉄鋼各社は2月19日に要求書を提出し、新聞等で記載の通り自動車各社は『6年ぶりにベアを実施する』見通しである。また、日立、NTTや新日鉄住金、三菱重工も賃金改善の実施を検討している。一方で、賃金改善の実施は一時金や残業代、諸手当などにも反映されるため経営側は慎重になっている。企業経営者の志の高さが問われている春闘である。

『2014春季生活闘争』は、『月例賃金』にこだわり『すべての働く者の底上げ』『格差是正』を求め、その成果を地域に広げる春季生活闘争を推進していくことが求められている。

徳島県内の中小労働組合の交渉が本格化する

のは例年4月以降となっているが、今年は消費税増税で4月以降になると腰折れが懸念されるため、すべての組合が3月内決着に向けて回答が引き出せるよう頑張っていこう」とあいさつ。続いて森本事務局長から、「2014春闘の基本的な考え方、すべての組合が月例賃金の引き上げにこだわり、経済成長と整合した賃上げの実現を目指し、すべての働く者の底上げ、底支え、『人への投資』を求め」闘争体制の具体的な取り組みについて提起を行った後、河村議長の団結ガンバローで総会を終了した。

総会終了後、連合本部総合労働局の曾原次長を招き連合白書学習会を開催し「働く者を取り巻く情勢、『痛んだ雇用と労働条件の改善』、『すべての組合が月例賃金の引き上げにこだわり、経済成長と整合した賃上げの実現をめざし、組合員のみならず、すべての働く者の底上げ・底支えを実現する。』政策・制度実現で賃金改善の取り組みとともに『2014政策・制度実現の取り組み』を運動の両輪として進めていく。」と説明を受け、共闘会議第2回総会・連合白書学習会を終了した。



ろうきん

四国ろうきんの社会貢献活動

基本方針

四国労働金庫は、基本理念の下、経済・福祉・環境・文化などの社会的課題への取り組みを行うと共に、NPO、市民活動団体をはじめ地域福祉の事業に対する支援活動を進めています。

「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」と定めた「ろうきんの理念」の具体化を図ることを目的とした活動を続けます。

四国労金の社会貢献活動

■助成金制度

社会福祉、高齢者問題、文化や国際交流などの「福祉活動」を対象とし、非営利で、公共性の高い活動をしている団体に対し、応募申請をもとに審査・選定し、助成金を贈呈する制度です。

過去 12 年間に
**354 件 6,111 万円の
助成をしています**

■ピンクリボン運動支援

「ピンクリボン運動」を実施している四国地区の公益財団法人日本対がん協会グループ組織に寄附をし、支援をおこなう活動です。

※四国ろうきん ATM において、ろうきんカード（他行カード・MP 含む）での支払い 1 回につき 1 円を四国ろうきんが負担し、「ピンクリボン運動」を実施している四国地区の公益財団法人日本対がん協会のグループに寄附します。

詳細については

経営統括部 TEL.087-811-8004

E- メールアドレス：manage@shikoku-rokin.or.jp

または最寄りの営業店にお問い合わせください。



ホームページアドレス
<http://www.shikoku-rokin.or.jp>

金融機関コード 2987

全 労 済

1. こくみん共済 30周年記念の取り組み

①事務局全体行動(駅前街頭キャンペーン)



2013年12月13日(金)、JR徳島駅前にて県本部の役員(協力職員含)で、こくみん共済発売30周年をPRするため、「こくみん共済チラシ」と「ティッシュ」を配布しました。

チラシ配布は、通勤・通学の時間帯の朝8時から約40分、夕方17時45分から約40分の2班体制で、約1,000人の県民の皆さまに手渡ししました。

多くの方に「こくみん共済」のチラシを手にとりいただき、深く感謝申し上げます。



②サッカースクール in 徳島

2013年12月23日(月)、こくみん共済エリアイベント「こくみん共済サッカースクールin徳島」を、元日本代表選手の「福西 崇史」氏を迎え、アスティ徳島で開催しました。

サッカースクールには、徳島県サッカー協会に所属するサッカークラブ(U-12)のお子さま104人が参加しました。



全労済は、JFA「U-12 サッカーリーグ」へ協賛し、サッカーを通じて子どもたちの心の育成を応援しています。

2. 地域貢献事業

①徳島駅伝に協賛しました

全労済徳島県本部は、徳島県で60年続く伝統行事の「徳島駅伝」を支援するため、地域貢献事業として、2014年1月4日(土)～6日(月)に開催されました第60回記念徳島駅伝に協賛しました。

全労済は 徳島駅伝を 第60回記念 応援しています。

南から北へ、北から西へ。タスキに想いを託し、走者から走者へ。
親から子へ、幸せを絆でつなぐ、人生。
全労済は地域と世代を、助け合いの輪でつなげていきます。
全労済は地域貢献事業として、県内の伝統行事である徳島駅伝の協賛団体となっています。

祝
第60回記念
徳島駅伝

全労済
徳島県本部
(徳島県共済生活協同組合)
http://www.zenrosai-tokushima.co.jp
〒770-0942
徳島市昭和町3-35-1 労働福祉会館1F
TEL.088-265-2340
営業時間：月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日 年末年始は除く)

全労済は、福利厚生部門として、企業に貢献し、社会の発展に貢献することを目的として、地域貢献事業を実施しています。
出資金をお返しに、たいして謝金にはなりません。
全労済は、地域貢献事業として、県内の伝統行事である徳島駅伝の協賛団体となっています。

勤労者福祉ネットワーク

◆第18回アンコール国際ハーフマラソン2013大会に参加し、社会貢献を学びました。

財団の賛助会員や勤労者福祉サービスセンター会員、ファミサポ会員に加え県内の多くの勤労者の方々にこのチャリティーマラソン大会ツアーの参加をご案内し、この大会に参加することにより、国際貢献・社会貢献に加えチャリティーの意義についても学んでいただくこととしました。

日程は、2013年11月28日～12月3日までの6日間とし、11月29日には、国際マラソンランナーとして2度のオリンピックで銀メダル・銅メダルを獲得した有森裕子さんが企画するチャリティーウォーキングに、12月1日にはチャリティーマラソンに参加しました。カンボジアの対人地雷製造・使用の禁止を訴え、マラソンのエントリー費用の一部や集まった寄付金を、義手義足の作成費用や地雷被災者の社会復帰への支援・HIV/AIDS予防教育支援活動に活かさせていただきました。次年度もツアーを実施する予定です。多くの方の参加により成功させたいと思っています。



第18回アンコール
国際ハーフマラソン2013大会

◆あわーず徳島（徳島市勤労者福祉サービスセンター）

1、「マナーアップ研修2013」の開催

・2013年11月18日（月）（基礎編）

・2013年11月26日（火）（応用編）

徳島県立中央テクノスクール（ろうきんホール）

講師 松岡 由里子氏

講演 基礎編・応用編ともに、定員を遥かに上回る参加者がありました。社会人としての基本的なマナーとして、第一印象をよくするためには笑顔が大切であるということや、コミュニケーション力をアップするために、全員の参加型により話し方や聞き方の研修を体感しました。



「マナーアップ研修2013」

2、「第2回メンタルヘルス対策セミナー」の開催

・2014年2月6日（木） 徳島県立中央テクノスクール（ろうきんホール）

講師 中瀬 勝則氏（中瀬医院院長） 講師サポート 岩野 沙織氏（笑いヨガ認定ティーチャー）

講演 抑うつ、臨床面の話もわかりやすい説明でした。また、講師サポートの岩野氏と一緒に、全員参加型で「笑いヨガ」の体験もあり、参加者全員が「わはっは」「わはっは」と笑い、会場全体も和やかな雰囲気になり有意義なセミナーとなりました。



「第2回メンタルヘルス
対策セミナー」の開催

◆ファミサポ提供会員新規会員講習会の開催 ・2013年度第6期 フレアとくしま

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| ①2月13日（木）■保育サービスを提供するために | ■保育の心 |
| ②2月14日（金）■身体の発育と病気 | ■安全・事故 |
| ③2月17日（月）■心の発達とその問題1 | ■小児看護の基礎知識1 |
| ④2月19日（水）■子どもの世話 | ■子どもの遊び |
| ⑤2月20日（木）■心の発達とその問題2 | ■小児看護の基礎知識2 |
| ⑥2月28日（金）■子どもの栄養と食生活（ふれあい健康館調理室） | |



ファミサポ提供会員
新規会員講習会の開催

お気軽にお問合せください
（独）勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
☎（〇三）六九〇七―二三四（代）
FAX（〇三）五九五五―八二二―

- 国の制度だから
安心・確実！
- 新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。
- 掛金は全額非課税で、手数料もかかりません。
- 外部積立型だから
管理が簡単！
- 従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。
- パートさんもご加入
いただけます
- 適格退職年金制度
からの移行先です。

詳しくはホームページをご覧ください

中退共

検索

「中退共」の
退職金制度
なら、掛金
に国の助成
が受けられ
ます。

ご存じですか？

地域ライフサポートセンターの活動

徳島中央ライフサポートセンター

第10回「とくしま環境ボランティア交流会」の参加から

県民みんなが「環境にやさしい暮らし」を心がけ、「ごみゼロ社会・温暖化防止」を目指しましょう！をテーマに、2014年2月9日（日）10時30分からとくしま環境県民会議主催の交流会が開催された。

10時30からの鮎喰川周辺清掃活動には、森本前会長、松本副会長はじめ徳島中央ライフサポートセンターから多くの仲間が参加した。

前日の寒い雪日和から清掃活動が出来るか心配されたが、当日は天候に恵まれ風も余り無く防寒着が暑く感じられた。



ゴミ袋と火ばさみを持って運動公園の周りや土手周辺のゴミを拾って回ると、小さなマットレス、使えなくなったテント一式、空き缶などが捨てられていたが、参加された方が多くいたこともあり思った以上に早い時間に終了した。

ただ、河原の中には廃油など産業廃棄物の様なゴミが沢山捨てられており、河原に降り拾い上げられるものは処理したが、いばらや雑木の中にも多く捨てられていて残念ながら処理出来ず残してしまった。

鮎喰川周辺清掃活動から「ゴミは拾う物ではなく、捨てないものなんだ。」と肝に銘じ、「Think Globally, Act Locally！」を基本精神に足元を見て出来ることから始めたい。

午後からは、会場を徳島市農村環境改善セン

ターに移し、とくしま環境賞、とくしま環境県民会議の表彰事業や加茂名南小学校、城西中学校、新池川をきれいにする会、NPO法人環境コミュニティみらいからの活動報告等があり交流会を終了した。



徳島西部ライフサポートセンター

～池高の甲子園出場へ貢献！！～

昨年度も、地域社会へのスポーツ貢献事業として、①第28回徳島県西部小学生バレーボール連盟春季大会（5/26）②第8回東みよし町スポーツ少年団サッカー大会（10/19）③足代スポーツ少年団第29回さざんか杯少年野球大会（10/27）④第22回パナソニックヘルスケア杯少年サッカー大会（2/11）⑤三好少年軟式野球連盟主催春季大会（3/9）への後援を行いました。



この地域貢献事業は2007年から始まり、早7年が経過しました。7年前には小学生で大会に参加していた少年が、今春、池田高校野球部員として甲子園へ出場することが決まりました。本後援事業から甲子園へ出場する選手が出たということを大変嬉しく思っています。今後も活躍する選手が出てくることを期待しながら、今年度もこの事業を続けていきます。



徳島南部ライフサポートセンター

就労支援講座始まる！！

徳島県立南部テクノスクールから公益社団法人徳島県労働者福祉協議会が委託を受けた職業訓練（介護初任者研修科2）が12月18日より3ヶ月に渡り、徳島南部ライフサポートセンターを会場に始まりました。

この講座の教室でのお世話役を、徳島南部ライフサポートセンターが担当します。本講座の最終目的は、受講生9名全員の再就職にあり、日頃現場で働いている講師陣と協力しながら受講される皆様方全員が厳しい就職戦線を勝ち抜くための知識・技能を取得されるようにフォローアップして参ります。

徳島南部ライ



フサポートセンター2人体制で業務の大部分を講座事業に関わることになりますが、地域内勤労者の就職支援のため施設やジョブとくしまの皆さんと連携しながら取り組んで参ります。



エコキャップでワクチンを！！

エコキャップ回収・累計 【2013.12月末現在】

*羽ノ浦公民館	37,557個
*阿南市役所	47,808個
*日本電工	21,483個
*南部LSC	4,950個
*小松島郵便局	6,806個
*島田印房	1,332個
*全国一般大村支部	1,000個
*阿南郵便局	3,233個
*四国労金 阿南	2,890個
*倉敷紡績	50,016個
合 計	177,075個

プルタブで車椅子を！！

プルタブ回収・累計 【2013.12月末現在】

*羽ノ浦公民館	20,061.0㌦
*日本電工	621.7㌦
*倉敷紡績	10,500.0㌦
*四国電力	3,863.0㌦
*南部高退連	23.0㌦
*日下市議	681.0㌦
*四国労金 阿南	1,850.0㌦
合 計	37,599.7㌦

ちいさな気持ちから
おおきな社会貢献
ご協力ありがとうございます。

わーくぴあ徳島

特定非営利活動法人 壮 生

「糖尿病をはじめとする生活習慣病予防
について」の啓発セミナー開催

【高齢者の生涯現役支援事業】

徳島県の委託事業として「高齢者の生涯現役支援事業」が昨年10月1日からスタートしています。今年2月から9月の間に6回の講座・セミナーを開講・開催いたしますが、2月18日に1回目の「糖尿病をはじめとする生活習慣病予防についての啓発セミナー」を開催しました。

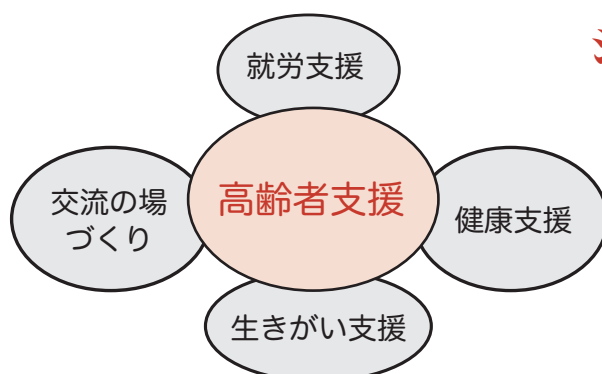
徳島県民への周知活動として、「リーフレットの徳島県内企業への配布(257事業所)」、「徳島駅での高齢者にリーフレットの配布」、「中昭和町住居へリーフレット・ちらしのポスティング(約200軒)」、「徳島新聞への案内掲載」を行い定員50名として募集をしました。当日は受講者数53名でのセミナーとなりました。徳島県看護協会の吉井恵美子先生に紹介いただいた天満病院看護介護部長 山川淳子さんと数回の打ち合わせを行い、当日は看護師さんによる受講者全員の血糖値検査を実施しました。セミナーに先立ち、主催者を代表して中村昌宏壮生理事長が挨拶をしました。

セミナーでは、天満病院(名東町)の内科部長 天満仁先生から「糖尿病をはじめとする生活習

慣病について」、理学療法士の仁田裕也先生から「生活習慣病予防のために今からできること・運動はお薬です」、管理栄養士の賀川義光先生から「食事療法について」の講演を聞きました。

アンケートでは、「セミナー全体の印象について」は大変良かった・良かったが42名、「セミナーの内容について」も大変わかりやすかった・わかりやすかったが42名、の回答が寄せられ、参加された多くの皆様から好評を博しました。

今回のセミナーは、3月27日に当館で、NPOの起業を考えている方のために「とくしま県民活動プラザ」次長 掛尾敏史氏を講師にお招きして、「NPO設立から、運営・管理、財務まで」をテーマにして、また、実践報告として、県内のNPO法人の先駆者として頑張っておられる「太陽と緑の会」代表理事の杉浦良氏から「太陽と緑の会の今日まで」をそれぞれ講演していただく予定にしております。ご関心のある方は是非ご参加ください。



お申し込み・お問い合わせは

NPO 法人 壮生

～シニアライフをサポート～

シニアライフを
サポートします

様々なイベント・セミナーを開催しています。

- 健康セミナー
- パソコンサークル
- 折り紙教室 etc.

詳細はお問い合わせください。

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
徳島県労働福祉会館別館内
TEL 088-625-6999 FAX 088-625-5005
<http://www12.ocn.ne.jp/~sousei>

ZENROSAI NEWS

皆さまに支えられ、 発売から30年を迎えました。

医療タイプ

医療安心タイプ

終身医療5000

総合タイプ

総合2倍タイプ

大型タイプ

がん保障プラス

生きる安心タイプ

傷害安心タイプ

シニア総合タイプ

シニア医療タイプ

シニア傷害安心タイプ

キッズタイプ

キッズワイドタイプ

キッズ満額金付プラン

30

th Anniversary

世代を超えて、安心をつなぐ。

こくみん共済

個人型国庫共済 個人型国庫共済 個人型国庫共済 個人型国庫共済 個人型国庫共済 個人型国庫共済 個人型国庫共済 個人型国庫共済

全労済は、営利を目的としない保障の生業として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。当資金をお支えしいたいで
組合員になれば、各額共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働組合共済連合会 全国労働組合共済連合会





いいことあるね!

Rろうきん

何かいいこと
はじめたいシーズンですね。
新しいプランが浮かんだら、
ろうきんにご相談ください。
春も、いいことある、
ろうきんです。

ろうきんイメージモデル 高垣麗子